

男がメイン？
女がサブ？

より良い関係を
築くためには
どうすればよい？

ほかの職場では
どうしてるの？

働く場編

自分らしくいきいきと 働けていますか？

Q. 下のイラストは、ある職場での様子を描いています。
あなたはこの2つのイラストを見てどんなことを感じますか？



あなたの考え方をチェック!

あなたの考えにあてはまるものにチェックを入れましょう。
また、実際の職場ではどうなっているか振り返ってみましょう。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない
① コピーや資料作成などの事務は、女性の方が向いている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 職場でのお茶出しは、女性の方が喜ばれるので男性はしない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 自分の上司が女性だと、働きづらい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 男性が育児休業や介護休業を取るのをおかしい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 女性は、結婚したり子どもができれば仕事をやめるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

あなたの
職場を
チェック!

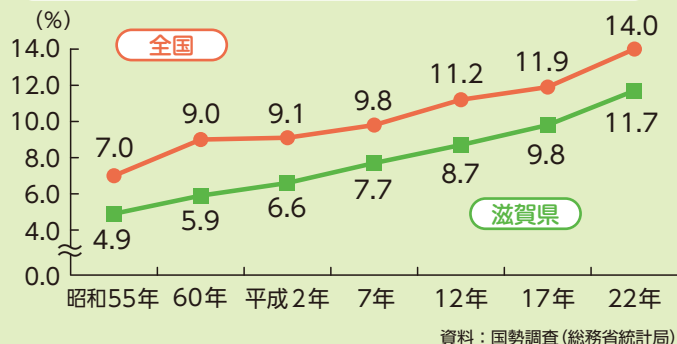
(1) あなたの職場で、結婚や出産後も働き続けている女性はいますか？

(2) あなたの職場の同僚の男性が育児休業(または介護休業)を取得したいと相談に来ました。どんなアドバイスをしますか？

POINT 1 その人自身の能力を活かせていますか？

●管理職につく女性はまだまだ少ない。

管理的職業に従事する者に占める女性の割合(滋賀県・全国)



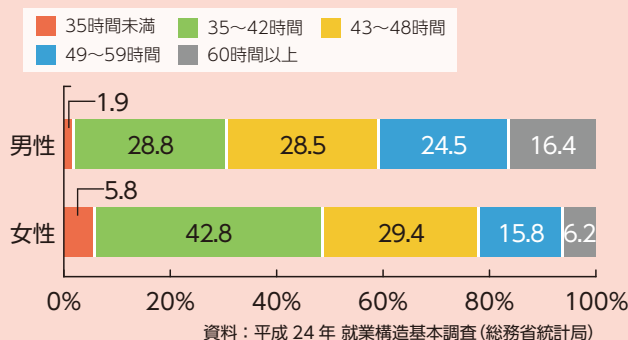
●性別にとらわれることなく、能力を発揮できる職場に。

男女雇用機会均等法が施行され、法律上では男女の差はなくなったものの、仕事内容や雇用条件、賃金、昇進などにおいて性別による差は依然としてあります。男性・女性という性別にとらわれることなく、その人自身の能力を十分に発揮できる職場にしていくことが大切です。

POINT 2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現できていますか？

●正規雇用者の男性の約16%、女性の約6%が週60時間以上働いています。

正規職員・従業員の週就業時間階級別割合(滋賀県)
(年間就業日数200日以上、年齢不詳を除く)



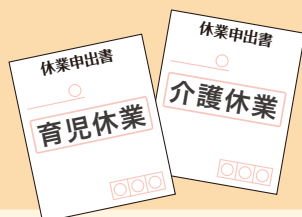
●仕事と生活の調和で豊かな人生に！

長時間労働を前提とした働き方は、家庭や地域生活へ参画できる時間を減らすこととなり、家事や子育て、介護等の家庭での仕事の負担が一部の者に集中する要因となっています。また、仕事と家庭生活の両立が困難な状況になりやすいことから子育て期の女性が離職する主な要因ともなっています。仕事も家庭も地域活動も男女が共に助け合いながら関わられるように、個人の働き方や職場での仕事の進め方を見直してみましょう。

POINT 3 多様な働き方を広げていきましょう！

●子育てや介護をしながら働き続けるためには。

子育てや介護で休みを取得できる制度がありますが、取得率は女性の方が圧倒的に高くなっています。誰でも取得できる環境をつくること、そして何より、家族や職場の理解が必要です。



男性・女性
どちらも
取得できます

●人生の段階(ライフステージ)に合わせた多様な働き方を広げましょう。

在宅勤務やフレックス制などの導入が広がり、自分に合った働き方を選べるようになってきました。最もいきいきと働ける形は、人それぞれ。多様な働き方を選択することができる職場環境づくりに向けて、経営者をはじめ、職場の構成員全員が意識改革と実践を進めていきましょう。

個性や能力、働き方は人によってさまざまです。お互いを認め合うことで、多様な力を結集し、より働きやすい職場へと変えていきましょう。